

貴重資料画像データベース「龍谷蔵」がより便利になります！！

～ 貴重資料画像データベース「龍谷蔵」への新機能追加とジャパンサーチ連携 ～

これまで、本学図書館の貴重資料をはじめとする、多くの資料を公開してきた貴重資料画像データベース「龍谷蔵」(以下、「龍谷蔵」)は、2012年度から本格的に運用を開始して10年以上になり、機能面の更なる充実を図るため段階的な改修計画をすすめています。

今回実施した主な変更点は以下の3点となります。

<主な変更点 (POINT) >

① URLの変更

新機能の追加や他機関との連携等の新たなサービスに柔軟に対応するため、「龍谷蔵」のサーバが新しくなりました。このことに伴いURLが変更になっています。

新 URL → <https://da.library.ryukoku.ac.jp/>



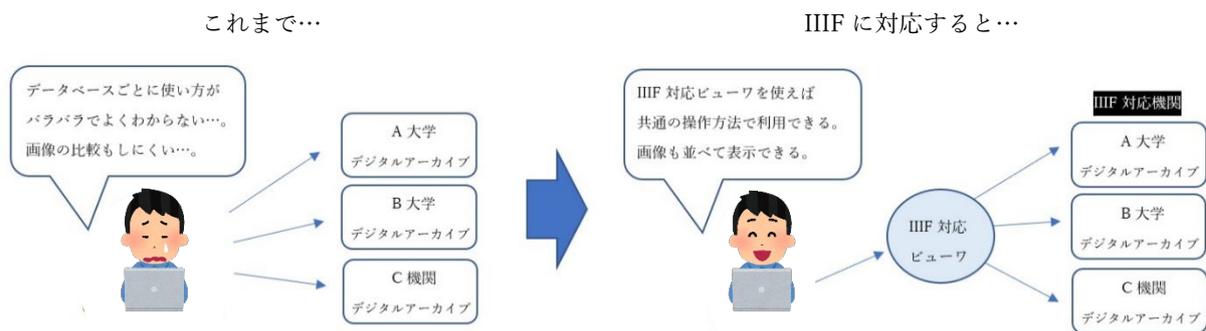
② ジャパンサーチとの連携 (2023年度より開始予定)

我が国が保有する様々な分野のコンテンツのメタデータを検索・閲覧・活用できるプラットフォームであるジャパンサーチ (<https://jpsearch.go.jp/>) と連携することにより、ジャパンサーチからでも「龍谷蔵」の資料を検索できるようになります。

ジャパンサーチでは、図書館、博物館、美術館、公文書館、大学、研究機関、官庁、地方自治体等の機関が所蔵しているコンテンツを探ることができます。コンテンツの分野は、書籍・公文書・文化財・美術・人文学・自然史/理工学・学術資産・放送番組・映画など、多岐にわたります。また、検索機能のほかにも、利用者の活動をサポートするための様々な機能が用意されています。機能の詳細については、ジャパンサーチ利用ガイド (<https://jpsearch.go.jp/userguide>) をご確認ください。

③ IIIF対応

デジタルアーカイブに収録されている画像を中心とするデジタル化資料を、相互運用かつアクセス可能とするための国際的な枠組みである IIIF (International Image Interoperability Framework: トリプル・アイ・エフ) に対応しました。IIIF に対応する画像は作成機関のアプリケーションに制約されず、IIIF に対応した画像ビューア (IIIF ビューワ) 上で一律に扱うことができるようになります。「龍谷蔵」では、(2023年4月時点で) 3種類の IIIF ビューワ (Universal Viewer、Mirador、Lime) を採用しています。各 IIIF ビューワの機能や使用方法等の詳細については、「龍谷蔵」の利用案内をご覧ください。



また、サーバクラウド化による管理・運用面の見直しを行ったことにより、長期安定的でより柔軟な運用を実現できるようになりました。

今後、レスポンス対応等のデザイン面の改修や未公開コレクションの追加公開についても検討をすすめていきます。